

天台佛青連



発行元 / 天台仏教青年連盟

編集 / 布教広報委員会

発行所 / 〒224-0033 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東 3-12-1 正覺寺御内

印刷所 / 〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目 2-7 福島カラー印刷株式会社

郵便振替 / 天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字 / 第257世天台座主
森川宏映 猊下



新任挨拶



第27代
天台仏教青年連盟
代表 **杉谷 義恭**
〈東京〉
全体統括

「ごあいさつ」

この度、第27代天台仏教青年連盟代表に就任致しました、東京教区第3部圓珠院住職 杉谷義恭(すぎたにぎきょう)と申します。

50周年を迎えた仏青連盟の代表就任という重責を負い身の引き締まる思いです。近年、世界中を席卷し続けたコロナ禍の中で、色々な事が停滞し、またある面では多くの学びをしました。連盟行事も中止・延期とした事をオンラインに変えたり、少人数で実施して、その時できる最善を模索しながら実行して参りました。

発足当初より仏青のあるべき姿は変わっておりません。常に進取の精進を忘れず、会員同士が自己研鑽をし、伝教大師の御教えを社会に広めていくこと。発足した頃より一層、科学や物質文明の波が荒々しく押し寄せる現代になった社会に対して、我々青年僧が何ができるか、どのような役割があるのかを考え、50年という節目のいま、怯えることなく可能性を求めて取り組んで参りたいと存じます。

今後とも、前任者同様、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



副代表
甲斐 健盛
〈兵庫〉
結集研修



副代表
小林 伯裕
〈陸奥〉
情報通信



事務局長
八木 隆純
〈神奈川〉
全体統括



事務局次長 庶務
清水 信秀
〈京都〉
結集研修



事務局次長 法務
秦 行亘
〈本山〉
救援



事務局次長 渉外
長 諒順
〈群馬〉
布教広報



事務局次長 会計
柳澤 最一
〈栃木〉
救援



会計監査
山崎 圓宗
〈三岐〉
情報通信



会計監査
高橋 文英
〈九州東〉
布教広報

退任挨拶



第26代
天台仏教青年連盟
代表 **角本 尚隆**
〈九州西〉

「御礼」

第26代天台仏教青年連盟代表任期満了にあたり一言ご挨拶申し上げます。

2年前の代表就任時は、コロナ禍の中様々なものが変化している最中でした。そんな中、連盟創立50周年記念法要、祖師先徳鑽仰大法会記念法要と、社会情勢をみながら規模の大小を図りつつ取り組んで参りました。祖師先徳鑽仰大法会記念事業に関しましては、11年という長期間、多くの諸先輩方の企画・意思を引継ぎ、最後には総結願法要にも横川中堂にて法要を厳修させていただきました。

これからは社会全体が変化していく中、青年僧にしかなできない事、青年僧だからできる事、これらは多くあると考えております。全国の会員の皆様、今後も自分たちができる事、率先してやるべき事を念頭に、様々な活動に邁進して頂きたいと思っております。

最後になりましたが、天台宗様はじめ、延暦寺様、宗内諸大徳様、全国の仏青会員各位に深甚より感謝申し上げますと共に、皆様の更なるご活躍をご祈念申し上げます。退任の挨拶と致します。



代表
角本 尚隆 (九州西・前列右から3番目)

副代表
甲斐 健盛 (兵庫・前列右から2番目)

副代表
杉谷 義恭 (東京・前列右から4番目)

事務局長
山崎 圓宗 (三岐・前列右から1番目)

事務局次長 庶務
清水 信秀 (京都・後列右から3番目)

事務局次長 会計
飯沼 康祐 (神奈川・前列右から5番目)

事務局次長 法務
山口 弘湛 (本山・後列右から4番目)

事務局次長 渉外
清原 要田 (山形・後列右から2番目)

会計監査
中里 正敬 (北総・後列右から1番目)

会計監査
木本 栄悟 (埼玉・後列右から5番目)

令和5年度～令和6年度 代 議 員



〈本山〉
山口 弘湛
(結集研修)



〈滋賀〉
勝山 圓海
(布教広報)



〈京都〉
丹羽 隆典
(結集研修)



〈近畿〉
細川 順教
(○救援)



〈兵庫〉
岩谷 宗圓
(救援)



〈岡山〉
龍 信明
(◎布教広報)



〈山陰〉
米田 良順
(情報通信)



〈四国〉
熊澤 芳心
(布教広報)



〈九州東〉
竹中 隆彰
(布教広報)



〈九州西〉
作村 光範
(救援)



〈三岐〉
高木 恵海
(情報通信)



〈東海〉
柴田 憲良
(結集研修)



〈北陸〉
岡田 直寛
(布教広報)



〈信越〉
関口 慈圓
(◎結集研修)



〈神奈川〉
原田 真人
(布教広報)



〈東京〉
佐久間 信晃
(○情報通信)



〈北総〉
中里 正敬
(◎救援)



〈南総〉
浅野 慈航
(救援)



〈埼玉〉
田中 晃生
(○布教広報)



〈群馬〉
林 祐基
(結集研修)



〈茨城〉
沼田 亮和
(○結集研修)



〈栃木〉
人見 貞典
(救援)



〈福島〉
佐藤 教順
(救援)



〈陸奥〉
四竈 亮順
(情報通信)



〈山形〉
清原 要田
(◎情報通信)



〈北海道〉
千島 秀友
(情報通信)



〈所属仏青〉
氏名
常任委員会(◎委員長 ○副委員長)

編集後記

今、何かと話題にあがるチャットGPT。試しに「天台仏教青年連盟に求められるものは何？」と聞くと、「仏教の理解と深化、社会貢献、企画運営能力、リーダーシップ、伝統や文化の継承」との回答でした。連盟の規程と同じで、五十年前からこのような目的意識をもち、連盟を発足された諸先輩の偉大さを改めて感じた次第です。

次に「天台仏教青年連盟の未来はどうなる？」と聞く。「価値あるものの提供を継続する限り、存続し発展する可能性がある」という当たり障りのない回答でした。AIには未来を予測することは難しいでしょう。それもそのはず、「未来」を作るのは「今」を生きる私達であり、私たちが考え悩んで一歩を踏み出すからです。「今」は過去の積み重ねであり、「今」を生きる私達が伝教大師の目指された「未来」を実現するために青年僧として活動しています。

杉谷代表の新体制となり、代議員も新しい顔ぶれになりました。五十年後の百周年に向けて新しい一歩をみんなで踏み出しましょう。

布教広報委員会担当役員
高橋文英